

— 中野家について —

貴一は14歳で父を亡くし、明治6年に新潟県片に所有地での本格的試掘を申請し、28歳の時に、若干の油田に成功しました。しかしながら、その後の採掘は失敗の連続で、家は傾き、親族知縁者からも諷められる状態でしたが、初志を貫徹し、最初の試掘の成功から29年目の明治36年、58歳の時に、初めて採算の取れる商業規模の油田を掘り当てました。その後も、幾多の苦労を経ながら、16才しか年齢の離れていない長男忠太郎と積極果敢に事業を行い、日本の三大産油業者の一つに成長し、「日本の石油王」と称されました。その産油事業は、第二次世界大戦時に国策（帝国資源開発法）が発布されて国内業者が一律（帝国石油株式会社の前身）に統合されるまで続きました。国内産油が日本の石油消費の約三分の一を支えていた時代にまさに象徴する人物でした。

当館は明治から昭和初期にかけて、石油の歴史を造り、日本の石油王と言われた、中野貫と忠太郎親子が建造した明治の豪壮な館、蔵と当地の近隣住民の失業対策として、あえて永年に亘り築造された日本有数のもみじの本数を誇る広大な庭園(泉恵園)が見どころです。又、中野家に伝わる江戸時代からの貴重な品々も展示されています。

一般客の応接室



賓客用の和室



賓客用の応接室



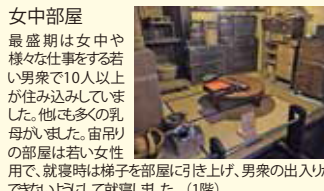
賓客の間

中野邸記念館全体図

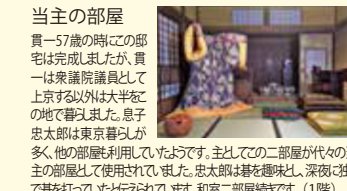


邸宅敷地及び建物内部について

往時建坪約650坪(新館含む)の建物の内、現存する総二階建て約250坪の邸宅です。往時の設えを再現してあります。



女中部屋



当主の部屋



主庭



中庭

ご自身のスマホで音声ガイドを聞くことができます

- 1、スマートフォンまたは携帯電話のQRコード読み取りアプリを起動してください。
- 2、スマートフォンの画面をQRコードにかざしてください。
QRコードを読み込むと、案内文が表示され、画面の再生ボタンを押すと、音声案内が再生されます。

一の蔵

二の蔵

三の蔵

